

三一 受信 一三四一 譯丁 一四一〇 電 〇〇二八五 航作 〇

一機動隊地航空部隊戰鬥概報着信盤所 小祿 航 空 基 地

機密第〇一〇七五一番電

戰鬥速報二ノ一 三月一日

〇六三〇ヨリ近接中ナリシ敵機〇七〇五ヨリ〇七三〇迄ニ戰爆八回

(内艦爆一七)ヲ以テ飛行場ニ被害ナシ

尙來襲中ノ方向等ヨリ空母ノ位置ヲ推定スルニ至ラズ敵ノ技術ハ前
回下同様ナリ。

通三七三 於十四(七八七五E) 一八日放 山本(川嶺)

22. 3. 2.

0004

三
一
受信 一〇〇二〇〇
譯了 一一四五
電 〇〇二四
航作 概〇

緊急



一機動基地航空部隊作命着信監所

鹿屋航空基地

機密 第〇一〇八二〇番電

一KFGB信電令作七一號

部隊ハ準備出來次第發進都井岬ノ一〇〇度ヨリ二〇〇度間四五〇

遡圈内ヲ索敵スベシ

三八〇一部隊ハ本日薄暮以後夜間觸接ヲ實施スベシ

三航特攻隊ハ特令ナケレバ三〇分間待機トナセ

一七七 呂一B (七八七五) KFGB放川崎(吉田)

20. 3. 2.

002

作

三 一 受信一〇〇二七 譯了二一〇三 電〇〇二三七 作 概

至 急

小 藤 空 基 地

一機動基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇一〇八四一番電

20. 3. 2

速

戦闘 報第二號ノ二(三月一日)

島

〇八三〇迄ニ艦上機延八二機來襲沖繩 首里 及飛行場附近ニ傳單
散布セリ四機一炎上飛行場周邊ノ爆彈ハ時限爆彈(約一時間)ナリ
友軍戦果撃墜四機若干ノ被害アルモノノ如シ。

003

通三三三三

於一四(七八七五K)一KFGB放

平島(上野)

三 一 受信 一〇四三 開始 一一〇五 了 一一四五 電 〇〇二五〇 航作 概本 〇

作戰特別緊急

鹿屋航空基地



一機動基地航空部隊作戰命令着信鑑所

機密第〇一〇八四八番電

一 K F G B 信電令作第七二號

一七 F 九八 F 可動全力へ豫定ノ如ク約二個中隊遠ニ第一作戰基地ニ進出

攻撃待機スベシ 在鹿屋宮崎笠ノ原部隊派遣隊ハ現配備ニアリテ待機

スベシ

二 二〇三部隊指揮官ハ零戦一二機ヲ第一團分ニ派遣七〇一部隊指揮官ノ

指揮ヲ受ケシムベシ七〇一部隊指揮官ハ五一〇三及同右兵力第二五四

航空隊特攻作戰組ヲ編成シ待機セシムベシ。

通一八八 呂一Bケ五(七八七五K) 一 K F G B 放送 東(ハンゾワ)

004

20. 3. 1

人
多

三二 受信一四一七
開始一六三〇

譯了一七一五 電〇〇九七九

航作
本概〇



三〇根敵回艦報着信艦所
一護衛艦隊P・五航空艦隊P

機密等 〇一〇九〇〇番電

20. 3. 3

一、二日敵機ヤツブ島來襲概況

(イ) 機種及數 TBF-1 F4U-1 P-38 PBY-1 計二七四機

(ロ) 來襲一七八 二十七日間

(ハ) 目標舟艇同基地建築物橋樑橋渠、海岸陣地

(ニ) 戦果被撃 F4U-1 一機墜一機F4U-1一機破五機 戦傷五名

三、敵機來襲ノ現状ニ於テ飛行場ハ修理スルモ使用可能ノ狀況ヲ持續

スルニトハ至難ト認ム。

海一〇三九 呂一四ラヤ四(一七六三〇K) 尾崎(本下)

三 二 受信 〇〇二二二 譯始 〇〇二五〇 譯了 〇八五〇 電 〇〇六五三 諜 訊

緊 急

● 二十 三 根 P

● 第 八 警 備 隊

大海參三部・二南遣、四南遣各警備隊、二十二根P・二警備隊

機密第〇一〇九一三番電

20. 3. 3-

- 一月二十六日（ハサ）南方（ブナン）附近ニテ逮捕セル濠洲ヨリ「マニラ」潜水ノインドネシヤヲ訊問増援軍ニテアラシク掩撃概ネ確實ナリ
- 「モルエテ」ニ昨年十月頃ヨリ監視至急全兵力假裝備
- 「ヒノエダマル諸島」諜者派遣ノ苦
- 「諸島」諜者派遣ノ豫定
- 「サマリンド」間洋上ヲ調査中ナリシニ依リ近ク諜者派遣ノ偵レアリ。

（東通註）本電誤字極メテ多ク調査中ナルモ一應配布ス

通七七四 呂二〇亂十八（六一五七五）二十一通

岩佐（酒卷）

至急

三一 受信一三一七 諱了一九四〇 龍〇〇七六〇 補教◎
諱始一七〇〇 〇〇七六一

南島 備

東 浦

機密第〇一〇九四三番電 二分ノ一二

着信者 横須長官

浦報者 横須賀軍需部長・横運部長・大本營海軍戦力補給部長

一日正午現在量九一空揮八三八升 八七空揮ナシ石炭三三三地(二號塊)

炭(三號塊炭ナシ)

二糧食三二九〇名ニ對シ米麥ナシ(即約米ニテ維持シ居レリ) 雜詰獸

魚肉ナシ乾物雜詰野菜ナシ鹽七月醬油 五月砂糖、味噌各ナシ其ノ

浦三三三二

三三三二

日一Bケ五(一〇二〇〇KG)

B

南 横須賀 大石、原野(海務)

007

20. 3. 3-

他調味品ナシ

三特ニ緊急補充ヲ得度キモノ糧食ハ彈藥ハ十三糧七高角砲二〇〇發以

上ハ二號石油ハ大發用燃料ハ六〇〇立手投圓錐彈五〇〇發手榴彈

六〇〇發藥用酵母一五〇〇〇瓦。

「東海註 本電傳メテ誤字多ク尙開始付不明瞭ニ付遲延」

二

作戰特別緊急

三 一 受信開始 一〇〇三九 一〇四五 電〇〇一九九 作機〇



第一潜水部隊 (先遣部隊)
聯合艦隊 口

六 艦 隊 口

機密第〇一〇九四五番電

20. 3. 1

第五八機動部隊ハ二十七日硫黄島ノ南西海面ニテ補給後西進シ一日〇
七〇五以降沖繩島沖大東方面ニ來襲シツツアリ地點ハ八カ五五附近ニ
アルモノト認ム。

通二一二

オ一四 (五二九五) 六 P 放

鈴木 (松井)

緊急

三
一
受信 一
開始 二二五〇〇
譯了 一三五〇
電 〇〇〇三四二
航本 〇



鷹屋空基地

一機動基地航空部隊作戦命令着信艦所

機密第〇一〇九五六番電 二分ノ二

一KFBG B信電令作第七四號

當面ノ作戦要領左ノ通り定ム

一索敵隊以テ捕捉撃滅ノ確算アル場合第一邀撃配備后使用兵力標準左ノ通り

一) 索敵隊八〇一部隊陸攻飛行艇及第一一部隊全力

二) 陸軍雷撃隊九八及七可動全力

三) 河津爆撃隊攻撃第五〇一飛行隊約二ヶ中隊

四) 夜戦隊戦團第九〇一飛行隊在施屋全力

三三三
一
呂一日夕五(七八七五) KFBG B

安田(島田)

20. 3. 2

兩神雷部隊七二一部隊在鹿屋宮崎全力

伏勢特攻隊七〇一部隊指揮下兵力ヲ以テ特攻隊六組索敵機四機ヲ導

備ス

ニ特攻隊及右以外兵力ハ特令ニ依リ避退セシム。

人

三 一 受信一二五八
開始一三二五

譯了一三四四 電〇〇二八四 作

至 急

小 祿 航 空 基 地



第一機動基地航空部隊機着信機所

機密第〇一一〇〇一番電

20. 3. 2.

戰國速報第五號ノ三 (三月一日)

〇九四五迄ニ更ニ延七〇機來襲主攻撃目標電信所友軍戰果墜機飛行機
三機

敵水上機二機ハ搭乗員一名ヲ救助セリ。

010

通三〇七

於一四(七八七五KC)一GGGD放

望月(吉)

田

作戰緊急

三一

受信一六二〇
譯始一六五二

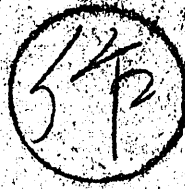
譯了一八二五

電〇〇〇四一〇九

航作概本〇

鹿屋航空基地

託間航空隊



大海參一部・聯合艦隊司令部
第一機動基地航空部隊

機密第〇一一二二三番電 二分、一二

第八〇一航空隊信電令作第一八號

本一日、〇區夜間哨戒左、通定、

一、基點都井脚同發進時刻二一一〇乃至二一三〇先端到達時刻二四〇〇

二、哨戒第一三法（一乃至一二計七線）一、番線一九〇度 二、番線一七五

度以上 進出距離四五〇哩 四番線一六〇度 六番線一四五度

八番線一三〇度 一〇番線一一五度 一二番線一〇〇度以上進出

通四五三、四五四、五五五（五二〇〇）佐通 廣田・杉原（榛澤）

20. 3. 2

011

距離四〇〇哩ニテ何レモ右折六〇哩
 三使用機一。二番線在鹿兒島飛行艇四。六。八番線陸攻一〇。一二
 番線在詔間飛行艇。

下

三一
受傳一七五九
開始一七一八

調了一七四〇
電〇〇四〇四

航作
本概〇

作戰緊急

鹿屋航空基地



博多空天草分遣隊・德島航空隊

南非空飛行機・一練空・博多空・一練空
佐鎮・吳鎮・阪警・五航空艦隊



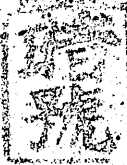
機密第〇一一三一三番電

發 八〇一空司令

敵情ニ鑑ミ本一日午後當隊飛行機ヲ左ニ依リ急速待避セシム
然ルベク配慮ヲ得度 德島陸攻約一〇機天草 彗星約七機。

通四七三 呂一B々五(五二〇〇K) 佐通 明比(標 澤)

20. 3. 25



作戰緊急

三一

受信一四四五八

譯了一五〇四

電〇〇三一一

作概

佐鎮區敵情着信鑑所

終

和

鳥

機密第〇一一三五七番電

敵戰團機一〇機ト交戦戦果二機墜落。

通三九五

於一四（九八三〇）佐二取

宮崎（島田）

20. 3. 2.



三 一 受信一七四四 譯了一八一五 電〇〇五七四 作機〇
 譯始一七五五

● 佐 鎮 部 隊 ● 佐 鎮 ● 聯合艦隊口・吳鎮・五航空艦隊口・一二聯合航空隊

機密第〇一一六〇六番電

20. 3. 2.

- 佐鎮信覽令作第四一號
- 一、本日南西諸島ニ來襲セル敵機動部隊ハ引續キ明日同方面ヲ攻撃ノ算
 大ナルト共ニ更ニ北上九州方面來襲ノ算ナシトセズ
 - 二、佐鎮部隊ハ明日左ニ依リ敵機動部隊ニ對シ警戒ヲ嚴ニスベシ
 - (イ) 佐世保方面部隊ハ〇六〇〇ヨリ第二警戒配備
 - (ロ) 沖繩方面部隊指揮官所定。

通七五一 於一四八五二〇〇〇 (佐世保線 疎通所 山今(並)線)



三
二一 受信 〇〇〇四〇三 譯了 一 一 一 五 電 〇〇七〇六 作 概
譯始 一 〇〇四〇

- 聯合艦隊口・四艦隊口
- マーシャル方面防備部隊
- 六二警備隊

機密第〇一六二七番電

概報 二月二十八日、三月一日兩日、四〇二機艦ネ〇四三〇・一一〇〇
哨戒二月中來襲機皆無（一月十八日以降）但シ哨戒機ハ毎日離島迄モ銃
撃 戦死別報其ノ他ノ被害ナシ。

通六九七 呂一Bラ三（五一二五E）四通 安田（金 森）

20. 3. 9

人

三 一

受信一九二〇五

譯了二〇一五

電〇〇五八八

作 概〇

作戰緊急

東海東部南航路船團行動通報艦所

聯合艦隊 戶・吳 鎮



機密第〇一一六三二番電 二分ノ六二

20. 3. 2

佐領信電令第三〇號

一、南九州所在船舶ハ直ニ發動差當リ口ノ津ニ向ヒ避退セヨ

二、南西諸島所在船舶ハ左ニ依リ行動セヨ

(イ) 今夜半迄ニ揚搭終了ノ見込ノモノハ極力揚搭ヲ急ギ終了後B船ハ

佐世保潜水艦ハ三池又ハ門司

(ロ) 揚搭見込ナキモノハ適時發動北西方ニ避退午後敵情ニ應ジ行動ス

(ハ) 避退困難ノ際ハ極力陸上砲火ノ俾力圏内ニ入ル

(ニ) 甲標的隊鶴田隊ハ差當リ牛深方向ニ避退ス。

通五二一、五二七 天一B (五二〇〇KG) 佐通 風情。漆原(吉田)

人

三二 受言〇八二〇 詳始一二五五

詳了一三四〇 電〇〇八一 作編



聯合艦隊中、四艦隊下
こがね丸

六三 警備隊

機密第〇一一七〇〇番電

20. 3. 3-

PMB 戦國概報 (三月一日)

一、昨二十八日 PBY ランシキ爆音 一六二五、一六五一、一七二四、二

〇〇〇夫々南下

二、來襲機 P4Y 一六機 一〇五西方ヨリ來襲昨日ト同ジク滑走路ニ投

彈一二三同方向ニ墜退

三、噴戒機〇四三八、一二一〇夫々 P4U 二機。

020

通八六三

呂ノBラサ(一七六三〇) 四通

河尾(島田)

作戦特別緊急

三一 受信二二五八 譯始二二五五 了二三三〇 電〇〇五〇六 航作 本機〇

鹿屋航空基地

一機動基地航空部隊

傍
聯合艦隊口 支那方面艦隊口・佐領
三航空艦隊口・因海上護衛隊

機密第〇一一七〇六番電

八〇一部隊信電令作 第一九號

八〇一部隊信電令作第一八號ニ依ル本一日ノQ區夜間哨戒ニ左ヲ
追加訂正ス

一 一 番線 基點 都井岬 一九〇度四五〇 濕二六〇度一四〇 濕三五〇度
六〇 濕八〇度一〇〇 濕以後都井崎歸投

通六三二 呂一Bヶ五(三八〇ニ五K) 鹿屋 長井(鈴

ソ)

三番線二二〇度五番線二三三度何々基點佐多際進出距離四〇〇
側程右折六〇週先端到達時刻二四〇〇使用機陸攻

三二

受信 〇〇九三五

譯了 一〇五〇

自電 〇〇七九〇
至電 〇〇七九二

作 概



急 通

東 通・聯合 艦隊 口

高

警

海 護 各 口・支那方面 艦隊 口・三連支 艦隊 口
南 西 方 面 艦 隊 口・一航 空 艦 隊 口・海 警・沖 根 口
佐 鎮・臺灣 航 空 隊

機密第 〇一七二五番電

三分ノ一ニ三

20. 3. 3-

二月二十八日戰圖概報

臺灣南部ヨリ侵入一群

一、第一次〇八三六ヨリ一〇三七ノ間敵編隊三群臺灣ヲ一週セルモノ

ノ如シ霧ノ爲機種機數不明ナリシモ一部發見セル敵機ハ概テ戰闘

機ナリ林邊附近ニ小數ノ投彈アリタルモ戰果被害ナシ

二、第二次一〇五五ヨリ一二三〇ノ間P-I三八 一三機高雄地區ニ侵

入數群ニ分レ銃撃ヲ實施セリ他ニ臺灣南方洋上ヨリ近接シアリタル

通七六二一 呂一Bラ十八(四五七二、五K)高二放 廣田(杉本)

通七六二一

通七六二一 呂一Bラ十八(四五七二、五K)高二放 廣田(杉本)

編隊機群ハ島内ニ侵入スルコトヲ脱去セリ戦果被害ナシ

三、他ニB-I二四 一機一二三〇ヨリ臺灣周邊ニ近接セルモ攻撃ヲ行

ハズ天候偵察ヲ行ヒタルモノノ如シ

四、二月二十七日戦闘概報追加

(1) 海軍側 戦果既報被害軍需部運輸部廳舎倒壊(既報)軍需品關

係被害ナシ人員死者一九名重傷者二名行衛不明五名(埋没ト認

ム)

(2) 陸軍側 戦果ナシ被害壽山麓兵舎六棟大破戦^死一九重傷四五行衛

不明五名

(3) 民間側 被害倒壊焼失家屋總計八六一戸死傷一三一敵ノ投下セ

ル彈數五〇番二五番合計^約二一〇大小焼夷彈約一〇〇ニヨリ高雄

市^街主要部ノ大半 壊滅(以上二月二十八日一四三〇迄ノ調査)。

ノ

三一 受信二一〇五〇〇 調了二二〇〇 電〇〇八二七六 作航本稿

作戰緊急

海上護衛總司令部 一護衛隊司令部

一海防隊司令部 (海防防)

機密第一〇一七二五番電 二分ノ二二

發 二五〇日高鞍參謀

宛 高雄第一護衛隊除高雄司令所氣付陸軍弘光參謀

船團掩護 任シ與ル獨立第二五飛行團ノ戦力左ノ如シ

五〇日主力ハ二日ヨリ四日迄「ビル」方面作戰ニ轉用ノ爲又二〇日

FRハ七機佛印ニ到着セルモ整備不充分ノ爲四日頃迄掩護可能ノ全機

數六乃至七機ニシテ而モ練度低キモノアリ五日以降ハ約二〇機ヲ

以テ掩護シ得ル見込依テ「ビル」九八船團一方モウレ岬出港ヲ四日夜以

後ニ延期セラレ度希望ス至急返

通 八五 天一日ケ五(六二三五)十通 高田、川崎 (久保田)

20. 3. 3.



作戰特別緊急

三 一 受信二二〇五 譯了二二二〇 電〇〇四七一

參作 本概 ○

◎ 三 〇 根 ㄟ



◎ 三 〇 根 戰 闘 概 報 着 信 艦 所

◎ 四 六 警 ・ ヤ ツ フ 航 空 基 地 ・ 先 遣 部 隊 口 ・ 五 基 地 航 空 部 隊

機密第〇一七四六番電

P P 附近敵艦艇遠報 (三月一日)

○ 九 四 五 ヨ リ 一 六 〇 〇 迄 輸 送 船 五 (八 千 噸 普 通 三 七 千 噸 滿 載 二) 小 艦 艇 六 コ ス ソ ル 水 道 出 港 菲 島 方 面 ニ 向 ヒ タ ル モ ノ ノ 如 シ。

通五九六 呂一Bヲ十四 (四四九七五K) 四通 具票 (森 田)

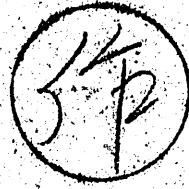
20. 3. 2.

緊急

三二 受信開始 〇〇一三三 譯了 〇二二〇 電 〇〇六二一〇 概

一機動基地航空部隊戰團概報着信艦所

鹿屋空基地



機密第〇一八〇二番電 二分ノ一二

20. 3. 21

一 K F G B 索敵速報 (一日)

一 彩雲五機ヲ以テ 〇四〇〇 區哨戒 (一四〇度 一三二〇度 四五〇度)

ヲ實施 一〇一五對潛掃蕩 一六三〇 全歸着天候晴視界二〇哩 一三〇哩

二 彩雲一機ヲ以テ 〇二〇〇 區索敵セリ 一九一度 五〇〇 哩ヲ實施 025

三 七地點「コ子三ウ」ニ於テ驅逐艦四隻速力十八節進行方向北東

及敵艦上機回機ヲ發見ス天候半晴視界二〇哩

三 陸攻三機飛行艇回機ヲ以テ本日 區夜間哨戒 (一〇〇度 一三〇〇度)

及二二〇度 一三三五度 四〇〇度 先端到達時刻二四〇〇)ヲ實施ノ豫

定 通六八六 呂一日ケ五 (三九三五 KC) K F G B 放 大石・原 (様澤)

六八三

ト

三 一 受信二二四〇 譯了二三五五 電〇〇五五九 航作 本原〇

作戰緊急

共

符



九五一空(總空基地、航空隊)・?
海上護衛總口・聯合艦隊口・佐領・鹿屋空基地・?

機密第〇一一八〇二番電

第九五一空電令作第七六號

一 敵機動部隊東海ニ進入セル疑アリ

二 第九〇一空大村派遣隊大艇一機ハ一日二二〇〇發進大村基點針路

二一〇度進出距離四五〇哩測程右折八〇哩ノ索敵ヲナセ

三 九五一空大村派遣隊隊攻三機ハ二日〇四〇〇發進大村基點針路二

一〇度二二〇度二三〇度ニ進出距離四五〇哩測程右折四〇哩ノ索敵

ヲナセ

四 佐世保零式水偵六機ハ二日〇五〇〇發進佐世保ノ二二〇度ヨリ二

五〇度迄進出距離三〇〇哩ノ索敵ヲナセ

五 攻撃機索敵機ノ使用電波ヲ五七四二トス。

通六六九才十四(六七四)佐二放 鈴木達(鈴六九三)十四(六七四)佐

20. 3. 2-

人

三 一 受領二〇四六 譯了二一五五 電〇〇五四〇 航作〇

緊 急



佐 興 部 隊

大 海 參 一 部 ・ 海 上 環 衛 總 口 ・ 聯 合 監 察 口 ・ 支 那 方 面 監 察 口 ・ 廣 告 口

機 密 第 〇 一 一 八 一 六 番 電

佐 領 守 府 信 置 令 作 第 四 二 號

一 敵 機 動 部 隊 東 海 侵 入 二 對 空 警 戒 ヲ 要 ス

二 第 九 五 一 航 空 隊 司 令 官 ハ 佐 多 岬 ノ 二 三 〇 度 線 以 北 ノ 東 海 二 對 空

ル 夜 間 及 黎 明 飛 行 哨 戒 ヲ 實 施 ス ベ シ

通 五 九 一 天 二 三 〇 六 一 六 七 〇 一 在 二 取 日 下 一 取 〇 一

20. 3. 2-

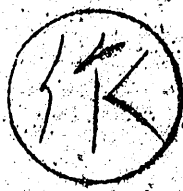
9

三
一
受信 三三三五七
開始 三三三三〇
三三四五 電〇〇四七四
航作 本概〇

緊急

ハラオ一航空基地

五基地航空部隊戦闘概報着信處所



三〇根

機密第〇一八二六番電

戦闘概報 三月一日

視界内飛翔敵機延 P 四 U
四一機 T B F
六機 P 四 P 六機
P I 三八 一機夕夕ラス輸送機三機 P B Y I 二
二機夜戦三機海岸
線附近銃聲數回戦果被害ナシ。

通六六一 呂二〇ヲ十四 (四四九七五〇) 四通放 野村 (鈴ノ)

20. 3. 2

B F

B F I 一 五機、P I 三八

一機計四二機 P P =

四視界内敵艦艇碇泊状況

(イ) コスソル水道

大型輸送船一、小型輸送船中型油槽船二、小型給油船一、驅逐艦一
小艦艇八

(ロ) P P P 周邊

驅逐艇五

三被害

二月二十七日對空戦闘ニ依リ下士官一名兵一名重傷。

作 戰 緊 急

三 一 受 信 二〇四三
譯 始 二〇五〇

譯

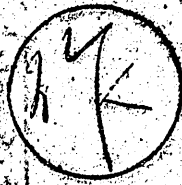
了 二一五

電 〇〇四六一

作 稿 〇

高

警



台灣本島所在高警廳下各部隊
台北在勤海軍武官

軍令部第一部・鹿屋空基地・沖繩方面根
第一航空艦隊F

機密第〇一八五五番電

發 參謀長

通報 一 K F G B 指揮官

本一日〇七〇五頃ヨリ敵機動部隊沖繩諸島空襲シツツアリ明二日早朝
台灣方面ニ來襲スル算アリ通信連絡不如意ノ折柄各隊ハ情報ノシユ集
ニ他ヲカヨルコトナク自隊ノ警戒ヲ嚴ニセラレ度
台北武官ハ台灣軍ニ對シラジオヲ通シ一般ニ對シ敵機動部隊ニ對スル
警戒ヲ嚴ニスベキ旨放送方申入レラレ度。

溜六一九 於一區(四〇四五K)一特、高通 鈴木(吉田)

20. 3. 2-